

玄米くらぶ

越谷市在住の音楽ユニットブラウンライス（玄米）男の玄と女の米で玄米
身体に良い玄米のように心にビタミンを届けたいという思いから命名した。
ブラウンライスと全国にいるファンによって非営利団体玄米くらぶは発足した。
先の東北関東大震災の直後は何も出来ないもどかしさと募金をしてでもダイレクトに届いてない
現実を見るたびに違和感を覚えていたブラウンライス。
そんな折NHKの番組でみた「放射能汚染によって子供たちが運動不足になっている」
これをみて当時開発中であった「fusaeのシナップサイズ」という体操を届ける活動を始めた。
まずは手始めに白河市の友人から紹介を受けて教育委員会に単独訪問を決行した玄。
その甲斐あって昨年は3箇所の幼稚園と2カ所の仮設住宅を訪問する事が出来た。



その資金もブラウンライスのCVDの売り上げやチャリティーコンサートの売り上げ
虹の懸け橋募金で賄ったのである。
今年は8月には足を延ばして郡山市・いわき市・山形市などにも愉快で楽しいシナップサイズと
癒しの歌声・絵本の読み聞かせ・お茶会などの企画をしている。
越谷発の小さな力を結集した支援活動を広く知っていただきたいと願うものであります。
今年は第一弾の活動とし草加市綾瀬川左岸広場で開催される「春の子どもフェスタ」に
「fusaeのシナップサイズ」でステージ出演と模擬店「玄さんレストラン」を出店する。
この広報活動と売り上げと「虹の懸け橋募金」を支援活動の資金とします。
そして6月には越谷能楽堂でブラウンライスソロコンサート「水無月物語」があります。
日本文化を大事にするブラウンライスが昔話と音楽を融合させた初めてのエンターテインメントを
越谷市で開催する。これも震災支援の一環として広く活動を知っていただき売り上げの一部は
震災支援の活動費として東北の子どもたちの笑顔の種となります。

